

教科目名 日本語表現法（Japanese Expression）

学科名・学年：全学科 4 年（教育プログラム 第 1 学年 ◎科目）

単位数など：必修 1 単位（後期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）

担当教員：山田繁伸

授業の概要			
文学的な文章と実用的な文章を区別する。本授業は、実用的な文章の書き方を学ぶ。書き方の基本を学び、適切かつ効果的に表現できるように日本語表現力の養成を目指す。伝え合う力を高めるとともに、思考力・発想力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現しようとする態度を育てる。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1)，JABEE 目標(f)	
(1) 文学的な文章と実用的な文章を区別する。そして、実用的な文章の特色を正しく理解する。（定期試験）			
(2) 実用的な文章の書き方の基本を身に付ける。（定期試験）			
(3) 実用的な文章の構造を理解し、論理的かつ分かりやすい簡潔な表現の工夫ができるようになる。（定期試験）			
(4) 実用的な文章の用字・用語について理解を深め、適切に使用できるようになる。（定期試験）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7			【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	「理科系の作文技術」 1 準備作業 2 文章の組み立て，パラグラフ 3 文の構造と文章の流れ 4 はっきり言い切る姿勢 5 事実と意見，わかりやすい表現 6 執筆メモ 7 手紙・説明書	○「理科系の作文技術」を読み、実用的な文章表現の特色を理解する。 ○具体的な実用的な例文を読み、書き方の基本を学ぶ。 ○要約文・履歴書・自己PR文などを具体的に書き、意見を第三者に的確に伝わるように表現の工夫を試みる。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29 30	後期中間試験の解答と解説 1 新聞記事の大原則 2 記事の書き方 3 改定常用漢字について 4 用字について 5 用語について 6 新聞記事のフォームについて	○新聞記事を参考に実用的な文章の特色を考える。 ○新聞記事がどのように書かれているか、その方法を学ぶ。 ○実用的な文章の具体的な用字・用法について理解し、自ら正しく使用する。	【理解の度合い】
	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		プリントを綴じる A4 版のファイルを各自で準備し、配布されたプリントは必ずファイルに綴じておくこと。	【総合達成度】
教 科 書		木下是雄，「理科系の作文技術」，中央公論新社 共同通信社編，「記者ハンドブック 新聞用字用語集 第 12 版」	
参 考 図 書		「新総合 図説国語」，東京書籍	
自学上の注意		新聞の社説やコラム，あるいは科学・文化欄の記事を読むように心掛けること。	
関 連 科 目		現代文，地域日本文学，卒業研究	
総 合 評 価		達成目標 (1) ～ (4) について 2 回の定期試験の平均点で総合評価する。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は，総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。受験資格は，配布プリントをすべて綴じている者に与える。	【総合評価】 点